

宮城北部森林管理署	
タイトル	栗原市復興ふるさと植樹活動
実施年月日	平成24年10月6日(土)
実施場所	宮城県栗原市深山岳国有林21に10林小班(栗原市栗駒耕英地区)
参加者	局署：宮城北部森林管理署 26名 外部：(独)森林総合研究所森林農地整備センター-東北北海道整備局、 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、栗原市、 (財)みやぎ林業活性化基金、耕英地区振興協議会、 栗駒の自然を守る会、NPO法人森林との共生を考える会 59名 計 85名
<p>【取組の目的・概要】</p> <p>平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震では、山地崩壊が発生し、人々の生活の場が失われるとともに、動物たちが自由に行き交う貴重な緑も失われるなど栗駒の山間地域に甚大な被害をもたらした。</p> <p>この活動は、被災前の動物たちの行き交う多様性のある豊かな自然を再生するため、NPO団体等と共催で被害の大きかった栗原市栗駒の耕英地区で3年前から実施しているものである。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国有林の土砂崩壊復旧工事跡地にブナ・イタヤカエデ・サクラ等の山取木及び種子から育てた苗木200本を植栽。 ・植栽箇所は、土砂崩壊復旧工事箇所で粘土質の堅密土壌となっており、バーク・化成肥料を施肥しながら植栽した。また、来年度の植栽予定箇所に広葉樹材のチップをまき、土壌改良を試みた。 ・治山事業の重要性と国有林野による安全・安心への取組をPRすることが出来た。 	
<p>【出された意見】</p> <p>参加者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来が楽しみ」、「植栽箇所が一面の緑になればいい」。 ・「この箇所で引き続き植樹活動を行いたい」 <p>などの意見が出された。。</p>	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活着率・成長量については、NPOが調査しているが、あまり芳しくない状況にあるため、更新・保育技術の確立が必要。 ・種子採取は天候に左右されるため、植栽本数を確保するのが難しい。 ・植栽場所の確保。 	

タイトル 栗原市復興ふるさと植樹活動



ふるさと植樹活動、多くのボランティアが参加



ブナを植樹する参加者



標柱の埋設



記念写真